

ANIMAL MAP 基地局

全国 92 基 導入済み※

サル用

シカ用

850 台※

190 台※

北海道 - 2
青森 - 1
岩手 - 1
宮城 - 1

新潟 - 19
山梨 - 2
長野 - 24

島根 - 1

ANIMAL MAP
基地局 AM-01

群馬 - 1
東京 - 3
千葉 - 5
神奈川 - 13

静岡 - 2
三重 - 7

京都 - 8
兵庫 - 3

※2015年以降累積導入数

導入先実績

鳥獣被害対策
行動調査

自治体・環境調査会社など
大学・研究機関など

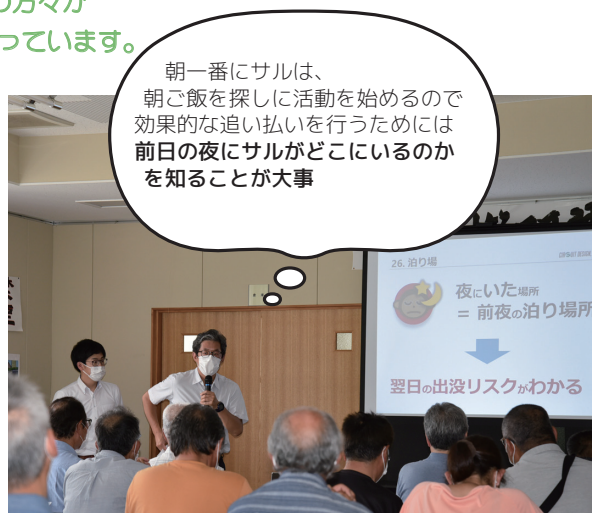
Android版 **GL-LinkManager2**

基地局を導入しない場合でも
スマートフォンを使って
動物を探索することができます

ANIMAL MAP 導入事例

長野県 辰野町役場 様

辰野町様では、複数のサルの群れにGPS首輪を装着し、ANIMAL MAPによる追跡調査を行っております。それに加えて、獣害対策コンサルタントのご指導のもと、地域住民の方々が日々、ANIMAL MAPでサルの位置を確認して積極的に追い払いを行っています。



地域の住民が自ら情報収集

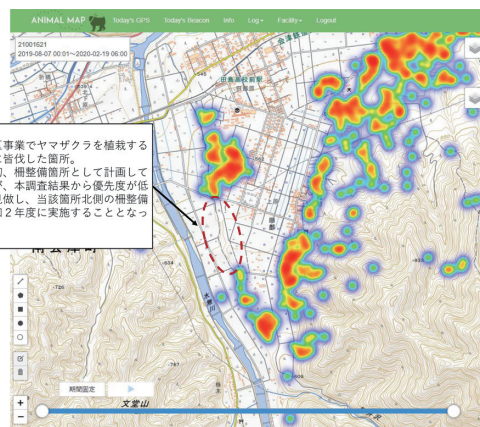
辰野町様では、住民向けに「獣害対策研修会」が定期的に行われています。2020年度は、弊社も参加させていただき、住民の皆様へANIMAL MAPの操作方法をレクチャーいたしました。実際に、皆様には自分のスマートフォンでANIMAL MAPにアクセスし、サルの位置をご確認いただきました。

獣害対策コンサルタントも活用

BO-GA様は、専門知識豊富な獣害対策コンサルタントで長野県安曇野市に事務所がございます。鳥獣被害に対して捕獲・GPS首輪の取付から、対策全体のコンサルティングまで幅広く業務を行われています。

福島県 南会津町役場 様

南会津町様では、サル被害対策を住民と一丸となって解決するため、地域住民と座談会や講習会を積極的行っています。ANIMAL MAPとサル用GPS首輪発信器をご活用いただき、地域住民の方々も自分の家の裏が真っ赤（サルがよくいる！）だと分かるととても熱心に対策に取り組んでくださるそうです。



地域の合意形成ツールとして活用

担当者様のお言葉「従来のテレメトリー調査では、業務時間中には十分な調査ができず、満足なデータ収集ができませんでした。そこで、調査データを大幅に増やしつつ労力を削減し、かつ地域の被害対策に対し効果的に合意形成を図るツールとして、ANIMAL MAPの導入を決めました。」

ヒートマップから柵設置計画へ

赤色が濃い地域から整備柵を設置していくよう計画されています。ひとめで分布域が分かるANIMAL MAPだからこそ、住民の方々も納得して計画を進めることができるそうです。